

特別講義

学校現場に生かす精神分析

— 非構造的な環境での理解と実践 —

講師：飛谷 渉先生(大阪教育大学保健センター)

金沢 晃先生(美作大学生活科学部児童学科)

平井 正三先生(御池心理療法センター)

NPO 法人子どもの心理療法支援会)

日時：2010年3月22日(月・祝)

内容・スケジュール

12:30 受付開始

13:00 挨拶・講師紹介

13:05 講義 飛谷先生

「思春期青年期プロセスへの精神分析的介入：考えるスペースと心理的視野を拡張すること」

14:35 休憩

14:45 事例 金沢先生

「問題行動を起こす子どもをスクールカウンセリングという枠組みで抱える試み」

飛谷先生、平井先生より事例についてのコメント

16:00 休憩

16:10 シンポジウム

ディスカッション

16:55 終了

「先生は結婚しているんですか?」、「子どもは何歳なん?」、「何人いるの?」と大人も子どもも治療者にそんな質問を投げかけてきます。

精神分析は、面接室で週5日、寝椅子を使用して、行われてきました。そこで重視されている原則の一つが、日時をきちんと決め、面接室内で会うということです(面接をこのようなルールに基づいて行う際、そのルールを“構造”といいます)。でも、上記のような質問は面接室でも、教室や廊下でも、散歩中も一緒にご飯を食べている時にもされます。彼らはなぜそんなことを尋ねるのでしょうか?

人を理解すること、こころを理解すること、その人のことを分かろうとし、その人が自分自身について知ることを援助すること、そしてその関わりがその人の支えになることが私達の仕事です。

時間とお金がかかると言われる精神分析ですが、言葉や行動の背景にはどんなところがあるのかを考え、役立てるための道具として精神分析を使うという視点が、この講義の大きな意図です。特に、今回は、「思春期」に焦点をあてます。

申し込み手続きについて

【参加資格】

臨床心理士・医師・教員・保育士・児童指導員・心理系大学院生

【会場】

名古屋国際センター 第2研修室

〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号

名古屋駅から徒歩7分。地下街ユニモールを直進していただくと、地下鉄桜通線「国際センター駅」及び名古屋国際センタービルの地下とつながっています。地下鉄桜通線「国際センター」駅下車すぐ

【申込方法】

E-mail（又は郵送）の件名に「特別講義参加希望」と明記して、氏名、所属・職種、住所、電話番号、メールアドレスを記載し、お申し込みください。同時に、下記の銀行口座に受講料をお振込み下さい。お申込みと参加費の入金の確認をもって、参加可能とし、こちらからの連絡はいたしません。定員オーバーなど当方の都合により参加不可の方のみ、ご返金いたします。念のため、当日に振込の控えをお持ち下さい。

【受講料】 3,500円

【締め切り】 2010年2月28日

【振込先】 百五銀行・桑名支店・
(普通) 751260 精神分析的心理療法セミナーみえ事務局代表鈴木誠

【申込先】 精神分析的心理療法セミナーみえ事務局
mail to : tk2010@hotmail.co.jp
〒511-0811 桑名市東方山手通155-1 シャトレ桑名201